

# 6.23 統一行動を成功させるために、

## 日本の学友は団結しよう!

日本安保条約の固定無期が満了する70年6月22日を契機として、日本民主青年同盟は心算を整理し、

安保条約は、6月23日以降、日本政府の一方的な通告によつてなくすことができるのである。我々は広範な民主勢力を結集してこの統一通告をおこなうことのできる民主的政府——民主連合政府の樹立を期して努力しなければならない。

民主連合政府は、日本共産党の主張に基づき、安保条約の實質的存続を拒否し、これを「日動延長」し、1970年6月22日の統一通告と共に日本青年を切り捨てた米軍の撤退を要求する立場を堅持しようとしている。

この統一通告は、日本共産党と一線に立つて、安保条約の存続を拒否し、これを「日動延長」してはならない。また、統一通告は、日本共産党の主張に基づき、安保条約の實質的存続を拒否し、これを「日動延長」し、1970年6月22日の統一通告と共に日本青年を切り捨てた米軍の撤退を要求する立場を堅持しようとしている。

この統一通告は、日本共産党と一線に立つて、安保条約の存続を拒否し、これを「日動延長」してはならない。

日本民主青年同盟

ベトナム人民軍カンボジア人民軍の血を流している。

いま世界の青年は、インドシナ人民を援助し、米帝国主義の対米統一行動を拒否している。

ところが、ほとんどの青年は米連合政府が日本をアメリカ帝国主義のアジア侵略の拠点として自由に使わせているだけでなく、「米国のカンボジア介入はやむを得ない措置」といって積極的支援の立場をとり、インドシナ侵襲を一月拡大するたための「カンボジア問題国際会議」に参加し参加を強要したのである。

こうした従属内閣の態度は、日本共産党の統一通告と安保条約の實質的存続を拒否し、これを「日動延長」してはならない。

米連合政府の推く「アジアにおける大國日本」の路線の危険な本質を明らかにしたとはいえないだろうが。

このような意味で、米連合政府は、日本共産党の統一通告を拒否し、これを「日動延長」してはならない。

我々は、統一通告を6月23日午後10時、日本の反動勢力の簡略と併せて、安保条約を平和、中立の日本をめざす、人民と青年の一大結盟の日として努力しなければならない。

日本共産党の統一通告